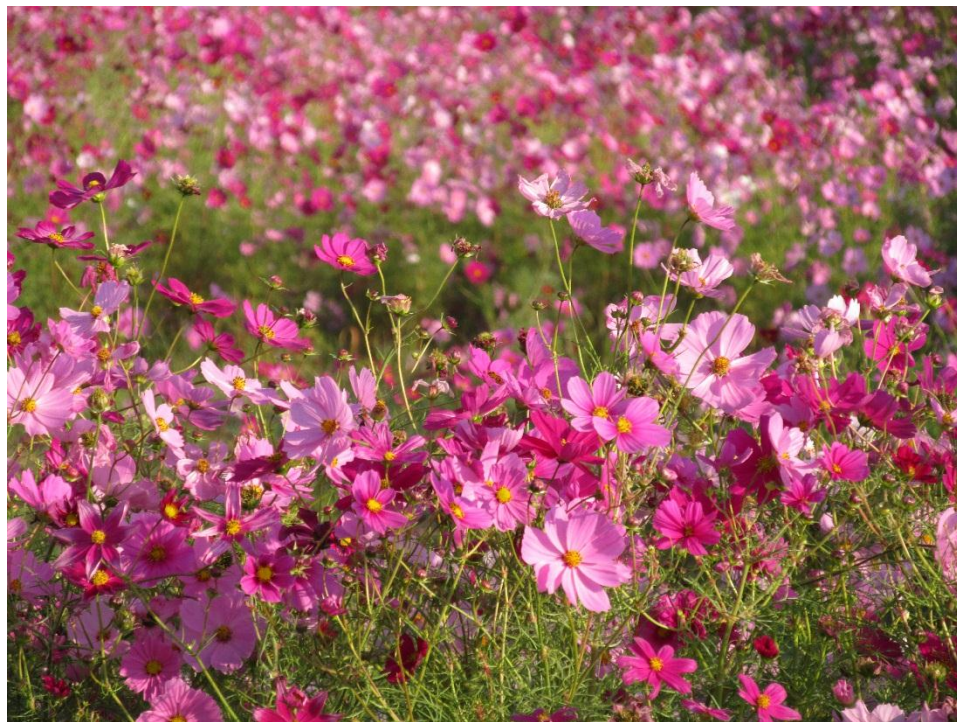


切手のいらない手紙

平成 27年 10月 8日



最近、田んぼをふと見るとコスモスが咲き乱れていることがあります。秋の桜と書いて、コスモスとよませます。山口百恵が秋桜という歌をうたって有名になりました。たしかに、桜のように可憐で、ピンク色で、でも長い間楽しむことができますね。一面に秋桜が咲いていると、本当に美しいな、と思いますね。最近の日本の文化になりつつあるように思います。

～～陸上部～～

私は、高校に入って部活動を頑張っています。しかし今こうしてがんばっていると言えるのは、あるきっかけがあったからであり、4月の頃は「がんばる」と口で言っていただけであって、全く行動に結びつけてはいませんでした。そのきっかけとなったのが、夏に久しぶりに中学の部活に参加したことです。

私の母校である高橋中の陸上部には、たくさんの指導者がきて指導をします。私は、高校に入って砲丸の重さが重たくなるからという理由をつけて、自分に甘えていました。しかし、その指導者に気持ちを改められました。中学へ行って、気持ちを改められるとうことはとても恥ずかしいことですが、それからはウエイトトレーニングを大いに活用して、筋力をたくさんつけ、砲丸を軽く感じられるようになりました。友達に、「春までに生まれ変わるから見てね！」と、宣言をして頑張っています。宣言した以上、春の大会でベスト記録を出し、部員や家族のみんなにお世話になっている「恩返し」をしたいです。今日も、自分をおいこんで部活にとりくみたいですよ。

～ハンドボール～

僕は高校に入ってから運動部に入りました。中学校では疲れたり、きついのが嫌だと思ったので文化部にしました。しかし、途中で運動部をやればよかったと思い始め、高校では運動部に入ることを決意しました。

僕はハンドボールに入部しました。ハンドボールとは、サッカーとバスケットを足して2で割ったようなスポーツです。最初は慣れないボールの大きさにとまどいました。ボールをうまくつかむことができず、思うように投げることができませんでした。そんな時、先輩が「こうして投げるといいよ」と教えてくれました。先輩のおかげで上手に投げられるようになり、少し楽しくなりました。

夏の練習はとても大変でした。気温が高く、地面もとても熱かったです。時には熱中症のようになってしまう人もいました。走るとすぐに汗がでて、水分もたくさん取らなければ倒れてしまいます。そんな中、僕は耐えて練習をがんばりました。何度もコートを往復し、何度もシュートを打ちました。たくさん外しました。怒られる時もありました。ある日、とても調子がいい日があって、シュートを打てば入り、1ゲームで4点も決めることができました。先生からも「すげーな」と褒めてもらい、とてもうれしかったです。これからも多分、耐えて練習をすれば、チャンスがめぐってくると思います。頑張って、チャンスをものにしたいです。